

# 赤潮・貧酸素情報（6）

令和元年 9 月 9 日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター  
豊前海研究所長

9 月 8 日（日）に全域調査を行った結果、沖合のシーバースの底層では酸素濃度の低下が継続しています。

その他の 7 カ所の調査点では酸素濃度の回復が確認されました。

## ＜貧酸素の状況＞

○シーバース付近では酸素濃度が 50% を下回っています。（図 1）

## ＜今後の対応＞

○9 月 2 日に 5 m 層より低い値であった表層水温の逆転現象は、通常の高温期の状態に戻り、表層が高い状態となりました。

○水深 20 m 付近では水温や酸素濃度が低下する躍層がみられるため、今後の天候や海況によっては、低酸素濃度の区域が拡大すること考えられます。

○研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報に十分ご注意ください。

※漁業被害、海面の着色などがみられましたら、

豊前海研究所(0979-82-2151、担当:恵崎、後川)までご連絡下さい。

## 9/8 漁場調査結果

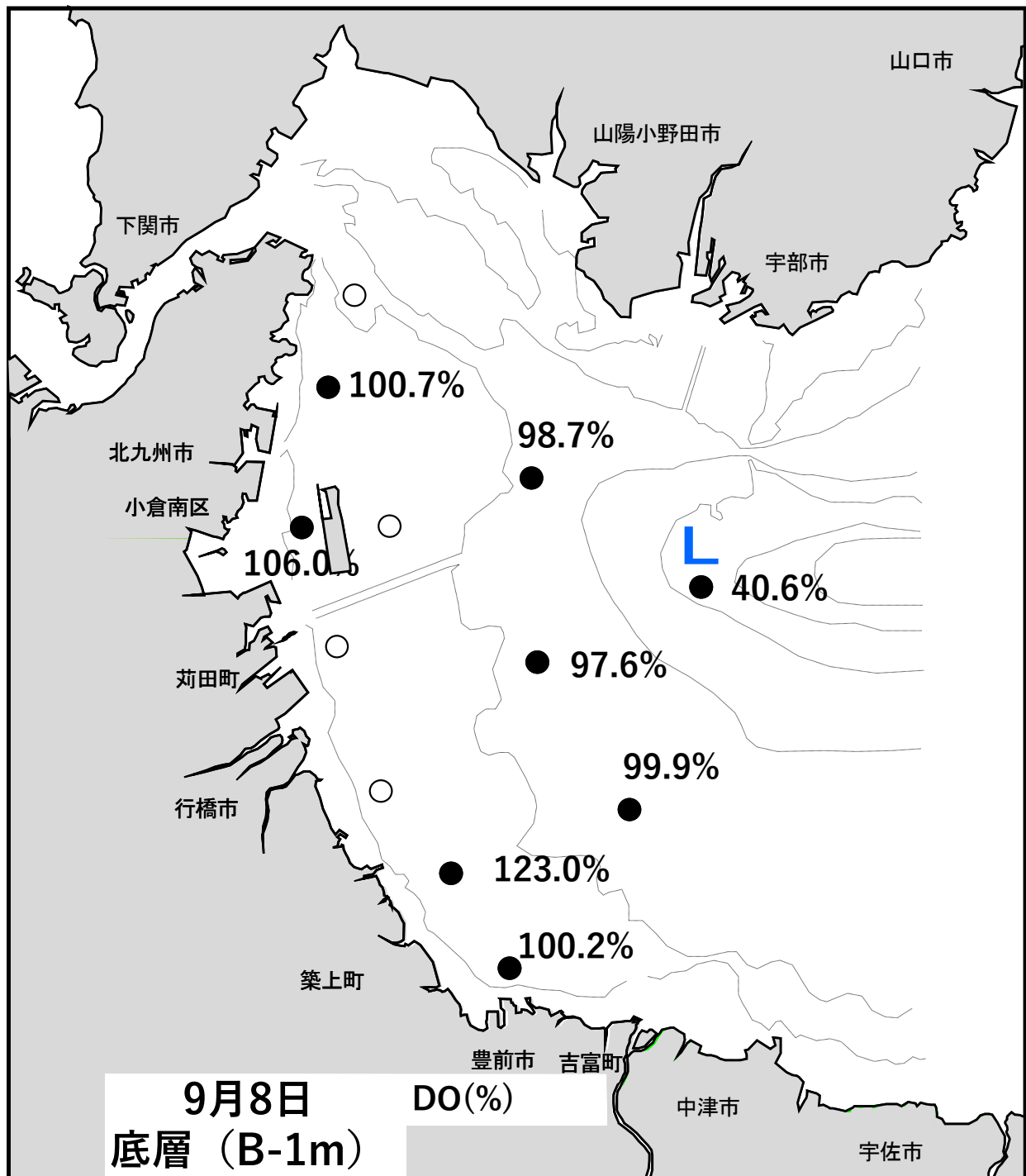


図 1 各調査点の底層の酸素濃度 (%)